日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２６期・８巻　　２０２０年　11 月号　　ＮＯ．231

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

秋の記憶

山行ＮＯ．１８８８
２０２０．１０．１１
富士山・御殿庭

２０２０年度　１１月度例会資料　　２０２０、１１．０１

１．　報告・当面の予定

０９月　２６日（土）・・・八丁池下（雨）＝４名

１０月　０２日（金）・・・塩尻・坊主岳（１９６１ｍ）＝４名

０３日（土）・・・塩尻・経ヶ岳（２２９６ｍ）＝４名

０７日（木）～１０日（土）・・・秋山合宿＝白砂山・草津白根山（台風・前線中止）

１１日（日）・・・富士山・宝永山２３５２ｍ峰＝４名

１７日（土）・・・三つ峠・東尾根＝雨中止

１８日（日）・・・富士山・二つ塚＝雨中止

２４日（土）・・・三つ峠・東尾根

２５日（日）・・・県連・安全登山講習会＝清水

車１台・・・経費は会負担です。昼食は、清水でマグロです。

長泉静銀集合＝７：４５

2020年・安全登山講習会　＜最近の事故事例から学ぶ＞

「山岳事故とその対応について」

と　き　2020年10月25日（日）　受付 9:10　開場 9:20

講演 9:40～11:30　質疑応答11:30～12:00

ところ　静岡市清水区役所内「ふれあいホール」静岡市清水区旭町６－８

コロナ対策で定員118名

講　師　日本勤労者山岳連盟　事務局長　川嶋　高志　氏

講　演　登山における事故について　“なぜ発生してしまったのか”・・事故原因の究明と共に救助の方法や二次遭難の回避、負傷者の搬送など実体験に基づき

コロナ対策で消毒液は準備します。マスクの使用を忘れず

主　催　静岡県勤労者山岳連盟

伊豆ハイキングクラブ参加希望者は事務局まで連絡ねがいます。

３１日（土）・・・愛鷹山＝ブナ観察

１１月　０７日（土）～０８日（日）・・・全国自然保護集会＝三ケ日

２．　その他・・・なし

３．　寄贈会報とピックアップ

「やまなし山の会会報」　山梨・山の会　10月号　NO.271　電子版　P16

＊恋の俣沢でパーティーが分かれた。テン泊で大の処理は？？

「くろゆり」事務局ニュース　三島勤労者山岳会　10月号　NO.489　P8　電子版

＊４名で火打・妙高で夏山合宿。連日雨だった。

「のいちご」　伊豆ハイキングクラブ　10月号　NO.346　P16　紙製本

＊旧下田街道の風情を残す「難所・横山坂」

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　10月号　NO.表記ナシ　P5　電子版

＊紙製本から電子版になった

「ハイキングだより」　新潟・みちぐさハイキングクラブ　10月号　NO.318　p12　電子版

＊三国街道の古道探索

「あさぎり」　あさぎり山の会　10月号　NO.324　A4判　p26　紙製本

＊自然保護部の「ナラ枯れ調査」・・・カシノナガキクイムシが樹内にラファエラ菌を増殖し、水分を上げる機能を阻害し。樹木が枯死するという

「登山時報」　日本勤労者山岳連盟　　10月号　　NO.548　B5　　p40　　紙製本

＊アマダブラムで高名なＫ氏がヘリ下山。経費は遭対基金？？！！

御嶽山で遺族ら登山

噴火6年（きょう）　コロナで慰霊祭中止に

58人が死亡、5人が行方不明となった2014年の御嶽山（長野、岐阜両県、3067メートル）の噴火から27日で6年となるのを前に、犠牲者遺族らが26日、慰霊登山を行った。例年開かれる遺族らによる慰霊祭が今年は新型コロナウイルスの影響で中止に。山頂（剣ケ峰）では、犠牲者に手を合わせる姿が見られた。

御嶽山の噴火から6年となるのを前に山頂の剣ケ峰が見える場所で手を合わせる、長男英樹さんを亡くした堀口純一さん（右）と妻の寛子さん＝26日

例年9月26日は、御嶽山の7合目付近にある遥拝（ようはい）所で慰霊祭が行われ、参加者が山頂に向かって黙とうをささげるが、今年は新型コロナ感染防止のため開催を断念したため、山を訪れる遺族は少なかった。犠牲者遺族らはそれぞれ、あの日、家族が歩いた登山道を思い思いにたどった。

妻の寛子さんらと3人で長野県木曽町側の登山道を山頂の剣ケ峰が見える所まで登った岡山県赤磐市の堀口純一さん(74)は、リュックに入れて登った花と、亡くなった長男英樹さん＝当時(37)＝が好きだったお菓子とウイスキーを供えて、山頂に向かって手を合わせ、「会いに来たよ」と語り掛けた。

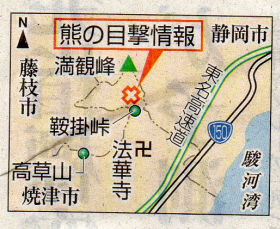
山頂付近で噴火に巻き込まれ、犠牲となった長山照利さん＝当時(11)＝の父親幸嗣さん(50)は剣ケ峰で、固く目を閉じて約1分間、手を合わせた。幸嗣さんは「娘だけでなく、亡くなった全ての方に安らかになってほしいとの思いを込めて祈った」と語った。

長野県王滝村側の「王滝頂上」では、立ち入り規制の続く尾根「八丁ダルミ」に向かって、亡き友人に「（いつか行くから）待ってて」と呼び掛ける男性の姿も。19歳で行方不明となった愛知県刈谷市の野村亮太さんの叔父正則さん(57)は噴火発生時刻の午前11時52分に黙とうし「この場所で多くの命が犠牲になったことを忘れないでほしい」と声を詰まらせた。

27日には王滝村で、村や木曽町が主催する追悼式が開かれる。

焼津で熊目撃

満観峰ハイキングコースで2頭



焼津市は12日、同市の満観峰ハイキングコースでクマの親子が目撃されたとホームページ上で発表した。ハイカーや農業者に注意を呼び掛けている。

市によると、11日午前11時15分ごろ、1人でハイキングしていた同市の男性が鞍掛（くらかけ）峠から満観峰山頂に登る途中、山の斜面を登っていくクマと子グマ2頭を目撃した。男性から連絡を受け、市が調べたところ、ほかのハイカーからも目撃情報が寄せられた。

市は登り口に注意喚起の張り紙を掲示し、ハイキングする際は熊鈴を携帯するなど対策を講じるよう呼び掛けている。

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・ＩＫ　　写真・ＧＴ
山行ＮＯ.　　１８８３	
日　　時	2020 年 9 月 5 日（日）晴れ・暑い
山　　域	西丹沢＝犬越路からの１３５０ｍ峰・南尾根～犬越路
コース	長泉 6：00－白石キャンプ場駐車 600m 発 8:10－大室山南尾根－犬越路への分岐 1350m10:30-下山開始 10:45－犬越路避難小屋－分岐－用木沢－駐車場着 12:40－】白石キャンプ場にて昼食、水浴び－15:30 出発－合谷さん宅にて直会 18:30 まで－長泉
累計標高差	上り　駐車場 600m～1350m 分岐＝約 650m 下り　　同上
藪漕度	上り　アザミがいたい
難易度	非常に困難　　困難　　やや困難　　レ普通　　やや易しい　　易しい
今年はタマゴダケはなかった	
参加者	後藤、加藤、星、勝又、合谷、井上＝6 名

最強台風 10 号が九州を通過しようとするなか、天気が読めず２つの計画が示されていた。
①土曜は昨年同様、丹沢の大室山でタマゴダケを狙い、キャンプ。日曜に川遊び
②天気が悪ければ、富士山 2352m 峰日帰り
前日のメールで、あまりに暑い場合は川遊びで、まあまあの場合はタマゴダケ＋川遊びとなり、準備は山登りと川遊びとどちらでも対応できるように悩まされた。
昨年の 2019 年 9 月 7 日に大室山に登っている。この時はタマゴダケが豊作で、合谷さん宅でバター炒めにしていただいた。同じ尾根を登れば、今年もタマゴダケが採れると思っていた。

昨年のタマゴダケ

6:10 新潟運輸下バス停で乗車。車内で本日のコースが発表される。毎度のミステリーツアー。8:00 昨年駐車した用木沢出会いは、その手前の橋で 2m 四方の道路の陥没があり通行止め。Well キャンプ場に駐車できそうだったので、誰もいないのでワイパーに電話番号を書いたメモを置いて出発し

た。Well キャンプ場の北にある白石キャンプ場に管理人（佐藤幹彦さん）がいらっしゃったので聞くと、駐車したところはレッカーで持っていかれるから、うちに停めるようにとのこと。車を停めなおして 8:10 再出発。（注・１）用木沢出会いの尾根にとりつく。この時点ですでに昨年登った尾根と違っていたのだが気づかなかった。前回下った尾根だった。（注・２）

出発

本日の目標は、標高 1200m 付近のタマゴダケ生息域だ。いきなりの急登で踏みあとのない斜面を登る。私はほぼ 2 か月ぶりの登山で体力が心配だった。昼には戻ってくる予定なので昼食とビールは置いていき荷物は 1kg 軽い。昨年は、完全にへばってしまい、数歩登っては立ち止まって休憩する状況だったが、この 1 年山を登ったことでだいぶん楽になっている。2 ヶ月ぶりに自然の真ん中に身を置くことができることに幸せを感じる。気温は高くないが風はほぼなくズボンに落ちた汗は乾かないのは昨年同様。細い尾根のアップダウンはなかなかスリルがある。

標高 1000m を越えても 1200m になってもタマゴダケはおろかその他のキノコもほぼなし。昨年豊作だったから今年はないのか、雨不足や猛暑が原因か。

星さんが 1100m くらいで、「もうここで待つよ」というので、星さんと勝又さんが下で待っていることを伝えるために、先に行った後藤さん、加藤さん、合谷さんを追いかけた。1350m で一般道に出たところでそれを伝えたが、来た道を戻らないとのことだった。登ってきた尾根は昨年下りで使った尾根であり予定とは違うコースであったことと、登ってきた道はなかなかに厳しいのでそれを下るより、犬越路への一般ルートを下った方が楽だという判断だった。（注・３）

ここで、後藤さんと合谷さんは一般ルートを下り、加藤さんと私が、星さんと勝又さんのところ

まで戻り下山することになった。決まったところで加藤さんが「星さーん」と呼び掛けたところ返事があり、登ってきていることがわかった。そのため、2 人が登ってくるのを待って全員で犬越路コースで下山することになった。一般ルートは整備されているので、とにかく楽。

その代わり長い。途中、多少の登り返しがきつかった。犬越路の避難小屋を過ぎて分岐で右折し、ガラガラの沢を下る。沢の中は風がなく、太陽が真上にあり暑い。登ってくる男性 3 人と女性 1 人のグループとすれ違った。登山道が崩れて迂回する。用木沢に出て沢に沿って歩き、小さな支流で休憩し頭、顔、首を濡らし冷やすと気持ちいい。

用木沢沿いにある大ブナは枯れて、真っ白なサルノコシカケをはやした根本が残り、それ以外は

2020/9/5　用木沢大ブナ　半分以上消滅

2011/1/8　少なくともこの時点は元気

・・・ネット

沢に落ちていた。

用木沢出会いに戻り、駐車場 14:40 ゴール。駐車料金の交渉をだれがするか相談したが、やはり加藤さんが「おじさーん♡」といえば、きっと安くなるだろうということで決まり。交渉の結果、一人 100 円ということになった。合計 600 円。その後、折りたたみ椅子を人数分貸してくれた。加藤さんのお色気作戦成功。後で加藤さんの年齢が佐藤さんと大して変わらないことを言ったらすごく驚いていた。若い女性から甘えられたと思っていたようだ。一番奥の一番いい所を使わせてくれた。今から思えば、これも加藤さん効果だったと思う。

昼食

後藤さんと加藤さんと星さんはフライパンを出し、肉、野菜、チーズをバターで焼く。勝又さんは自前でソーセージとホタテの貝柱を焼く、合谷さんはお手製弁当、私は金ちゃんヌードル。勝又さんからおすそ分けをもらい、星さんからサラダラーメンと加藤さんが準備したそうめんをもらい、焼き物をもらいと、おなかはぱんぱんになった。

女性 2 人が川に入るというので一緒に行く（連れてかれる）。水は冷たく、肩までつかると、1 分も入っていられない。それでも水の中で、体をこすり汗を流すと大変気持ちよい。加藤さんは今日も泳ぐ。後藤さんがキャンプ場の佐藤さんと仲良くなり 500mmL のビール 2 本をもらって川に来た。（注・４）男 4 人で回し飲み。15:30 キャンプ場を出発。

食べなかったゆで卵とチーズちくわを佐藤さんに進呈。加藤さんのリップサービス「佐藤さん、後藤じゃなくて加藤だよ」を何度も叫んだ。

2 次会は裾野千福の合谷邸。合谷さんの作ったクラフトビールをいただく。さわやかな黒ビール。

昨年同様に合谷さんの誕生日を歌で祝う。18:30 解散。今日もフルコースの１日だった。その後、大きな「事件」が発生した。（注・５）

以上

白石キャンプ場＝佐藤幹彦さん

その他の記述（後藤）

注・１　駐車料金１日＝５００－

注・２　Ｋは、「ここは昨年下ったルート」と明言。ただ、Ｌが「そうかな～」で、再確認しないで、ズルズル上ってしまった。

注・３　ＧＹが昨年、転倒したらしい。

注・４　佐藤さんは、若い感じで同年配と思ったが、７７歳だった。昔のニシタン（西丹沢）をよく知っていた。昔話に花が咲いた。

注・５　５日、丹沢の帰り、合谷宅で直会。合谷さんの誕生日と、合谷ビア・初出荷を祝った。ビアは、サッパリ系で美味しかった。ご馳走様でした。丹沢は１２：３０ころ下山し、白石キャンプ場で既にイッパイやった。

合谷宅を後にして、竹沢種苗店前で井上君を下して、下土狩に向かう。既に暗くなり、加藤ドライバー以外は、朦朧としていたかも知れない。

鮎壺交差点で左折し、稲荷神社手前の交差点を右に曲がった所で、近所のオジサンに、「開いている、開いている」と言われた。最初、？？？で、何のことか分からなかった。実は、後ろのドアが開いていたのだ。誰も気が付かなかった。竹沢から約３．４９ｋｍを走ってしまった。前代未聞。

危なかった・事故るところだった。幸い、落下物はなかったようだ。

しかし、誰も気が付かなかったとは？？？！！！これいかに。

井上君も「覚えていない」という。

今後は、お互いに注意しましょう。特に暗くなった夜は要注意。

飲酒も進んでいるので、更に注意。

事故がなく本当に良かった。

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・ＧＭ　　写真・ＧＴ
山行番	ＮＯ．１８８７
日　時	２０２０/１０/２（金）晴れ
山　域	長野県塩尻市・坊主岳（１９６１ｍ）
コース	長泉町５：００－中部横断道－中央道－小黒川ＳＩＣ－権兵衛トンネル－奈良井ダム－登山口９：０５－山頂１１：２５　（昼食）　山頂１２：０５－登山口　１３：３５－仲仙寺－キャンプ地（泊）
標高差	上り　登山口１０５０ｍ ～ 坊主岳山頂１９６１ｍ＝約９１１ｍ 下り　同上
快適度	３（５段階評価）＝天気 晴れ・風あり・笹薮多い
参加者	後藤、加藤、星、合谷＝4 名

プレ秋山合宿ということで、おそらく最初で最後になると思われる坊主岳、経ヶ岳へ山行。
10 月 7～9 日に予定していた、白砂山・草津白根山の秋山合宿が台風１４号接近・前線のため中止となり、結果、今回の山行が実質的に秋山合宿となった感じ。
2 日 5 時長泉町を出発し、富士ＩＣで加藤さんをピックアップ。そこから一般道、中部横断道、中央道を走る。今回、試しに中部横断道を利用したが、二か所Ｒ５２に降りるので、まだまだ使えない。小黒川ＳＩＣで降りて権兵衛トンネル（4.2km）を抜けて、奈良井ダムの手前で坊主岳登山道の看板を見つけて、無事に登山口に到着。
マイナーな山のせいか、登山口の駐車スペースには非常に狭く、大きい車は方向転換するのも難しそうだった。
9 時 5 分に登山口を出発、登り始めからいきなり急登である。
少し登ると小さな祠が祀ってあったので、皆で今日の安全登山を祈願した。
祠から上も、とにかく急登が続く。頂上に向かって一直線に登っている感じがした。
1 時間近く登ると三角点（1429m）に到着。
ここは休息ポイントなのか椅子が置いてあったが、展望はない。

登山道への看板

登山口

登山口から少し登った所にある祠と石碑

登り始めの急登　　三角点（1429m）

三角点から、しばらく 1600mぐらいまでは少し勾配が緩やかになったが、笹薮が多くなってきた。
笹薮に覆われてはいるが、登山道はあり、藪漕ぎはしなくてよかった。
1600mを過ぎるとまた急登になり、足取りが重くなり、息が切れてきた。
厳しい急登をしばらく登り続けると、初めて展望が開けてきた。
登山口から約 2 時間半で山頂に到達。

地図では登り 3 時間となっていたので、高齢者登山としてはいいペースで登ったということか。
それにしても 360 度展望が素晴らしい。
東に明日上る、経ヶ岳、その後ろは南アルプス・甲斐駒、仙丈ヶ岳。北は焼岳、その右に鋭い岩峰の穂高連峰。その日、焼岳には元カモシカスポーツのＤさんが上っていた。西に夏上った御嶽山だったが、上半分は雲の中だった。
山頂にも祠があり、安全を祈願し、昼食を取ることにした。
昼食後、12 時過ぎに下山開始。
登りと同じ道を下ったが、登りが急登だった分、下りも急である。

笹薮

頂上直下

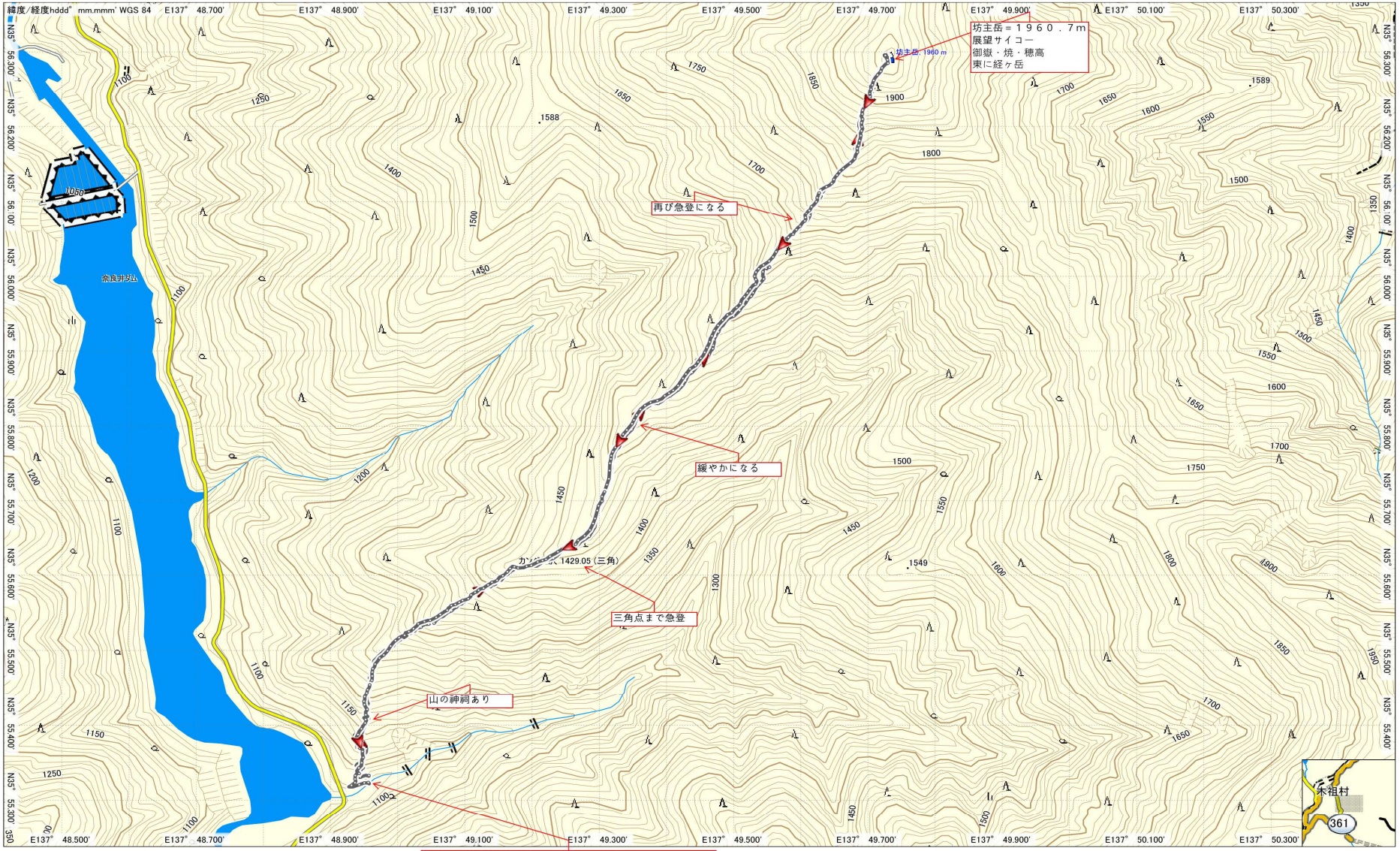
下りは登り以上に足に力が入り、転倒はしなかったが、だいぶ足にダメージがきてしまった。
山頂から約 1 時間半で登山口に到着。地図では下り 2 時間となっていたので、いいペースで下ったということになる。
やはりマイナーな山なのか、平日ということもあるかもしれないが、登り・下りとも他の登山者と出会うことはなかった。

明日は本命の経ヶ岳登山であるが、坊主岳の登・下山でだいぶ足に疲れが残っており心配だった。

坊主岳山頂の祠

後ろは、経ヶ岳方面

尖がりピークが、明日上る経ヶ岳？？



Ｓ／Ｇ　標高約１０５０ｍ　駐車」＝２台

2020/10/04 13:56:57

Japan Topo 10M Plus V3
CamisMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

GARMIN.

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　ＧＴ
山行ＮＯ.　　１８８７	
日　　時	2020 年 10 月 03 日（日）晴・上部寒い
山　　域	中ア・経ヶ岳（日本二百名山・２２９６ｍ）
コース	起床 4:00-仲仙寺発 5:15-四合目 6:34-五合目 7:07-七合目 7:58-八合目（展望台）8:43-九合目 9:06-経ヶ岳 9:40-九合目（昼食）-八合目 10:55-四合目 12:34-仲仙寺 13:29-見晴らしの湯-伊那 IC-長泉 18:30
累計標高差	上り　仲仙寺駐車場約 919m～経ヶ岳 2296m＝約 1377m 下り　　同上 ただし、権兵衛峠からは、標高差≒７００ｍ
藪漕度	上り　九合から笹が五月蠅い
難易度	非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易しい
50年、あたためた経ヶ岳	
参加者	後藤、加藤、星、合谷＝4 名

経ヶ岳を知ったのは、いつ頃だったか？？５０年前、山好きのＩハイクのＴさんに、例の口調で「アンタ、経ヶ岳って知ってるかね」が最初だった。

中アの山であるような、ないような。権兵衛峠でバッサリ、中アと分断され、華々しい花崗岩の巨峰に比べたら、余りに地味な山・不遇の山だろうか。

しかし、登山を５０年以上続け、年齢を重ねた現在、今、上らないと生涯上れない可能性がある。兎に角、一度上ろう。今回の登山動機だった。

キャンプでホイ

坊主岳を下山し、明日の経ヶ岳下見で伊那に移動。再び、権兵衛峠を潜り、羽広集落に向かう。

集落は、小高い丘陵に位置し、伊那扇状地が見渡せ、リンゴ・柿・キウイなどが、たわわに実っていた。経ヶ岳登山口は、羽広観音と呼ばれる十一面観音を祭った仲仙寺（ちゅうせんじ）境内にあった。寺は大きく立派。境内があまりに広く閑散としている。

登山口確認後、近くの「みはらしの湯」で温泉。日帰り温泉にしては大きな施設。露天風呂があって５００ーは安すぎる。入場の際、消毒・顔認証体温測定・住所記入があった。ＪＡＦは５０ー割引。温泉は、アルカリ系で良かった。露天から目を凝らすと、富士山みたいな山が見えたが方向が？？だった。テントは近くの某所で張った。

キャンプ場ではないが、天井があって濡れない・電灯・トイレ・水道完備で無料・静かの最高の場所で感謝・感謝でした。

夕餉は、鍋をつついた。酒も進み美味しかった。当夜は、満月が素晴らしかったと報告があったが私はトイレ時、何故か見ることが出来なかった。（山に隠れた？？）

珍しく女子が４時に起床。男子も起きる。昨夜は、隣のＧＹの鼾が五月蠅く、いささか寝不足。夜は高原だが、寒くなかった。テキパキとテントを撤収し、外で朝食。昨夜の鍋ベースの雑炊。味はマアマア。美味しかった。駐車場に移動し、暗い中５：１５、ヘッドランプで出発。羽広観音（十一面観音）にお経を唱えお参りする。全員、巡礼者で違和感はない。

仲仙寺・羽広観音

登山口

夜が明けるまで、アカマツ林を進む。梢に街の灯りがチラホラ。全く音がない静寂な山。靴音だけ響く。今日は、標高差が１３００ｍある。気持ちが入る。６時前、夜が明けた。Ｋが「マツタケの臭いがする」と騒ぐ。帰路、探したが見つからなかった。道は四合下まで山腹をトラバースで歩き難い。本来は尾根道だったと思う。

登山は標高差が１０００ｍ以上あると厳しくなる。普通、標高差３００ｍを１時間掛かる。１３００ｍだと４時間以上の計算。当然、下りも上りの８割程度掛かる。ひたすら上るのみ。歩き難い笹が多い。女子が何か見つけた。右下の林の笹の中に「カモシカ」がいるという。だが、保護色でハッキリしない。薄暗いうえ、目も悪いので分かりにくい。Ｈは「生まれて初めて見た」と大いに喜んだ。

横断道が終わると、右下の大泉所ダムから伸びる道と合流する四合目着。ダムからの道は寺道より３０分ほど早いらしい。ただ、初めて上るなら、やっぱり寺からがイイだろう。

登山道は四合から五合、六合と続く。辺りに「ジゴボウ」（花猪口）がチラホラあった。下山時に採取しよう。七合は、ちょっとしたピークで少し展望があった。

先は八合まで長かった。延々と唐松林が伸びていた。笹は狩ってあり気持ちは良い。八合は、コース唯一の展望台だった。

八合目

　先行者が一人。本日、トップの登山者だった。先に行ったＫと話していた。東京・山楽会のＳさん、６１歳だった。今朝、ダムから上った。聞けば、山岳スキーもやると言った。明日は「何処ですか」と聞いたら、「会の飲み会で帰る」だった。名刺を渡した。

　八合からピークを二つ越える。しかも、笹が酷くなった。帰りに会った伊那の若い衆の話では、夏に山岳マラソンがあるという。

　こんな酷い笹で走れるだろうか。道幅も狭いのでほとんど抜くことも出来ない。マラソンをやるなら、もう少し整備したほうが良さそうだ。

九合手前

ヤナギラン紅葉と種子

九合手前に、何処かで見たような枯花が沢山あった。葉が紅葉し白い綿毛が長かった。たぶん「ヤナギラン」と思った。帰って確かめたら、やっぱり「ヤナギラン」だった。夏上れば見られそうだが、ここを夏上るのは考えられない。

九合を越えて再び下り、最後の上り。北西の風が冷たく、手袋・上着を着けた。枯れ木を越えて頂上着。Ｓさんは既に着いていた。頂上は、モミの木（？）が邪魔し展望は良くない。

頂上手前

頂上

　昨日、上った坊主岳は、北西にすぐ近くだが良く分からなかった。細長い石仏が東の仲仙寺を向いていた。石仏は十一面観音像だろうか。ただ、ネットを見たら歴史的なものでなく「知り合いの電気工事屋さんのお父さん作の観音様」とあった。マジか・・・。(;´д`)

　兎に角、寒かった。北風があるので、体感温度は１０度以下だろう。寒いので写真を撮って貰い来た道を下山。しかし、足元を笹が邪魔して不安定なこと。

下からゾロゾロ、たくさん登山者が上って来る。いつもとは逆でこれから上る登山者を「励まし下る」のは、悪い気分でなかった。

北風に追われるように下る。帰って知ったが、実は権兵衛峠に下る道があった。こちらは寺コースの半分の時間で下れる。道も悪くない。縦走で短時間ならいうことはない。残念だった。

昼食に早かったが、早朝登山で空腹を覚えた。風が弱い九合目で早い昼食。土曜日でゾロゾロ上って来る。一人の年配者が来た。単独だった。

両手ストックだった。やや疲れた感じ。「お幾つですか」と聞く。私と同年配と踏んだが、一歳若かった。しかし、単独でこのコースを上るのは偉い。大いに励まし送った。

下山

昨日の登山もあり、膝が重たい。痛くはないが、スッキリしない。途中、頂上付近で会った若い衆に何人か抜かれた。若い衆は、「ピョンピョン」下って行く。だから速い。我々は「ドテドテ」だから遅い。

八合　　伊那の若い衆

八合で地元、伊那の若い衆と交流。トラックの運転手で毎週、静岡・浜松に来るという。前述の山岳マラソンをここでやっているという。コースの手入れもするそうだ。

六合付近で「ジゴボウ」を沢山ゲットした。帰って味噌汁で３日間食べた。美味しかった。前日

九合下（後ろが八合）

は、バター炒めだったが、これも美味しかった。秋はキノコが楽しみだ。ただ、今年「タマゴダケ」は全くダメだった。下から沢山上って来た。単独の年配者・アベック・単独女子などなど、１０名以上。土曜日といえ意外。地味な山で不思議だが人気の山だった。

最後に重荷の若い衆。聞けば「八合目で泊まる」という。「えええ～、わざわざ？？！！日帰りではダメ」に、笑っていた。ま、「これが若さだろうね」で納得。

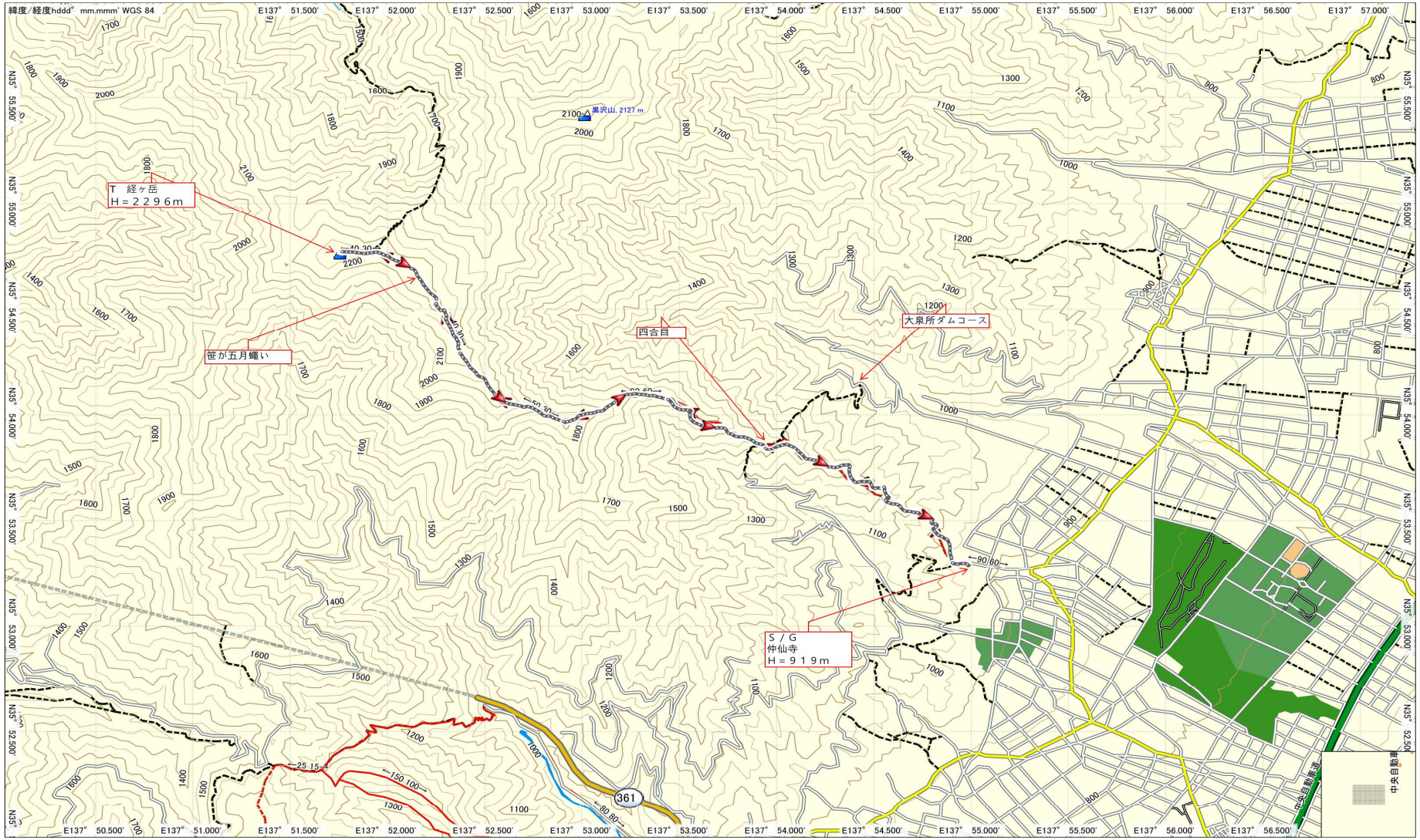
ニ～三合付近で、女子が「マツタケ」を探したが結局なかった。臭いはするというが残念。寺に戻り、安全登山に感謝し、境内の梵鐘を一打する。「心を込めて打て」と注意書きがあった。いい音色で山々にコダマした。

下山後、昨日の「みはらしの湯」に浸かり、下のソバ屋で名物の「ソースカツどん・ソバ」セットを食べた。伊那の「ソースカツどん」は、ボリューム満点で凄い。昨年暮れ、空木岳冬山時も食べたが、ソバが食べきれなかった。

今回もソバが残った。若いＧＹは全て平らげた。ほか三名は、食べ残しは失礼だから、「お土産」にして貰った。

その日に帰静。念願の山に上れて良かった。手ごたえ十分で記憶に残る山だろう。

（了）



Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMaple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014

2020/10/04 13:56:57

0 m 350 m 700 m 1050 m 1400 m

GARMIN.

MN TN
-7.2°
2010/01/01

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・ＩＫ　　写真・ＧＴ
山行ＮＯ．　ＮＯ．１８８８	
日　　時	2020 年 10 月 11 日（日）晴れ、まあまあ涼しい
山　　域	富士山・宝永山 2352m峰
コース	長泉 7：00－幕岩横－キノコの森－三辻－小天狗塚－御殿庭－2352m峰 11：35－昼休憩～12：55 下山開始－駐車場 14：45－井上送り－Ｇ宅直会－長泉
標高差	上り　約 1340m～・2352m峰＝約 1012m 下り　　同上
藪漕度	上り　なし　　下り　なし
難易度	非常に困難　　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
今年も、やっぱり、ジゴボウ祭り	
参加者	後藤、加藤、井上弘二郎、井上初美（はっちゃん）＝4 名

昨年 10 月 5 日と同じ山行。私は、ここに来るたびに宝永火口の景観に感動しており、一度嫁さん（はっちゃん）に体験してほしかったので、たまたま休みが合った日に無理やり連れてきたのであった。

秋の宝永はオンタデの紅葉が金色に輝き、森の中にはジゴボウ（花猪口）が待っている。前日まで台風の影響が残っていたが、当日はきれいに晴れた。私は昨年の 7 月にこのコースに初めて来た時、どんなコースか全く知らず不安だったが、「はっちゃん」も前日は登れるか、ベテランの後藤さんと加藤さんについていけるか、すごく不安になっていた。

御殿場の米軍キャンプの近くでは、ゼッケンをつけた自転車軍団が大勢登っていった。駐車場までの道路の木々は秋の気配を帯びていた。

初クライミングの「はっちゃん」

真ん中が「はっちゃん」

8:15　駐車場スタート。昨日までの雨で沢の岩は苔もあり滑りやすくなっていた。岩が濡れてぬめぬめと全体が光っている不思議な風景だった。林に入るとキノコが現れ始めた。やがてジゴボウ

ジゴボウをガッツリ・ゲットし、ほくそ笑む「はっちゃん」でした。(´艸`)

が見つかると隊は一斉に分かれてキノコ狩りが始まった。ジゴボウの見分け方は、K大姉さんによると、

① 傘が赤茶色でふちが白い　②傘の裏はヒダ状ではなく網状　③軸は2段になっている。これらの3条件を満たすものは間違いなく食べられるものである。

１つでも条件が違えば怪しいので除外した。持ってきたバスケットや袋にいっぱい収穫できた。「はっちゃん」も初体験ながら、みごとなジゴボウをたくさん見つけ、はしゃいでいた。たくさん採ったので重いのと、持ち歩くといたみが早くなるので、三辻の木の陰に隠しておいた。

宝永に近づくにつれガスが立ち込めた。ガスよ、宝永火口が見えるころには晴れてくれ、と祈る。結局、目的の2352m峰頂上に行ってもガスは晴れず、あのすごい光景を「はっちゃん」に見せることができなかった。また来よう。

「はっちゃん」は日ごろマラソンを目標に1ヶ月100km走って鍛えているからか力強く登っていった。前日の心配なんてどこ吹く風。トップでグングン行ってしまい、私はビリでどんどん置いて行かれた。途中から荷物を交換した。まるで何も背負ってないような軽さで、以降はるんるんで登ることができた。「はっちゃん」は荷物は重くないという（10kgくらい）。時折、ガスが薄くなりオンタデの紅葉を垣間見ることができた。巨大なフジアザミが咲いていたが、花を1つだけ残して、他の花は鹿が食べてしまったのか茎だけになっていたのが多かった。

コケモモの実がなっていた。11：35ガスの中、登頂。樹林帯まで下りて昼食。天気予報は夏日と

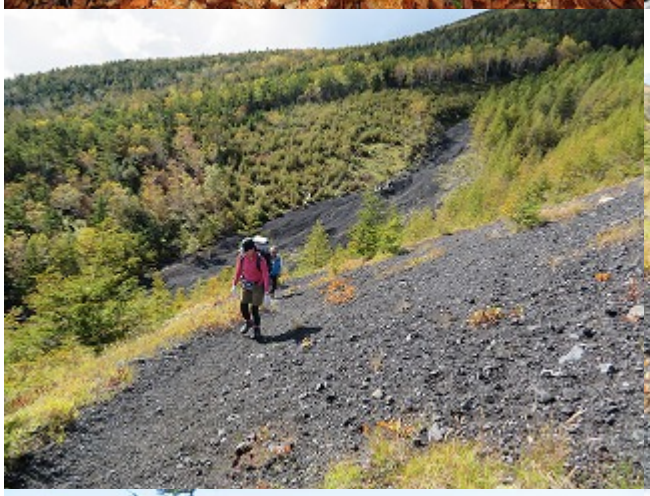
２３５２ｍ峰

御殿庭

御殿庭・・・若い人はイイね～！！！

のことで、やがてガスがなくなり、直射日光が夏のように熱い。ビールを 2 本開けた。ガスがなくなると、富士山の頂上付近や赤岳、宝永第 1 火口の対岸の梵字のように見える十二薬師もはっきり見えた。下山中も、荷物を交換したままで、私は楽ちん。

下りながら、伊豆半島の海岸のギザギザや駿河湾、愛鷹山脈、沼津市や富士市など下界の景色を楽しんだ。さすがの「はっちゃん」も下りは慎重になり、後藤さんと加藤さんはグングン下るので離れて見失ってしまった。ようやく駐車場着。



　帰宅後、加藤さんのご指導の通りに、ジゴボウは洗って、お湯にさっとくぐらせ消毒した。大きいものはバター醤油炒めにし、小さいものはみそ汁にして、その日の晩にいただいた。残ったものは冷凍し後日頂くことにした。

以下ははっちゃんが自身のフェイスブックに載せた感想です。

　・・・昨年は、金時山新柴コースと越前岳、富士山と登り、今回はその後１年振りの登山。台風一過の日曜日は、旦那さんが所属する山の会の山行に参加してきました。

　今日は、須山登山道横の沢から登り、宝永火口 2352m 峰への標高差 1,000m コース。そして秋のご褒美、じごぼう（きのこ）狩りオプション付きの山登りでした！見つけるって楽しい。夢中にな

バック・シャン

って探す探す（笑笑）。家に持ち帰って、バター炒めと、味噌汁にしました。お汁は美味しかったバター炒めは苦手。

宝永火口ではガスが出て、見たかった火口の景色が見えなかったけど、樹林帯まで下ってお昼休憩の時に一瞬ガスが消え、富士山頂近く迄見えてラッキー。

今回の山登りで感じたのは、普段走ってる事が凄く良かったということ！ランニングでは、心拍数が 180 近く迄上がり、ヒーヒー言いながら汗だくで走るが、山登りは心拍数が上がらないから、すごく楽に登れる。コツコツ走っていることが凄いことだと実感した日でした。

でも、下りはグダグダ。おいてけぼりです。滑るのが怖くて、へっぴり腰になり歩く速さも遅くなりました（笑笑）。次への課題です。参加させて頂きありがとうございました・・・。

以上

その他の記述（後藤）

１．実は「はっちゃん」とは、初めての登山ではなかった。まだ、子供さんが小さいころ、ハイキングに一家でよく参加した。記録を調べたら、２０１０年２月７日＝伊東・大平山が最後か？？
http://susono-reihou.babyblue.jp/20100207oohirayama.pdf
この記録は、「はっちゃん」と娘さんの、真理子・智香子が書いてくれた。あれから１０年経過で娘さんらは、すっかり大人になった。今度は、また、皆で上りたいですね。

２．「はっちゃん」は、若いうえ、マラソンで鍛えられた心肺・脚力は素晴らしかった。当初、歩

行を危惧したが、全く杞憂だった。将来、大きな戦力ですね。

３．Ｉ夫妻は用事があり早く帰宅した。Ｇ，Ｋは、会員のＧ宅で直会。ジゴボウのバター炒めが美味しかった。二番搾りのＧ手製の「Ｇビール」が、前回よりはるかに美味しかった。ごっそさまでした～！！！

ヤマシャクヤクの実

ジゴボウ

二番搾り・Ｇビール

データランド　　KIROKU-7-4

富士山・宝永山２３５２ｍ峰データランド（標高差１３４０ｍ～２３５２ｍ＝１０１２ｍ）　2020.07.03

*このデータは、標高差 1000ｍ以上の特定山域登山状況を比較して、体力・技術・総合力をはかるものです。

		年齢	幕岩下沢橋発	2352ｍ峰	上り時間	備考
2020.10.11（日・晴れ）	4 名	73 歳 8 月	8:13	11:33	3 時間 10 分	＊キノコ狩りあり
2020.07.19（日・晴れ・暑い）	3 名	73 歳 5 月	9:05	12:30	3 時間 25 分	＊新ルート、藪漕ぎあり
2020.07.02（木・快晴・爽やか）	2 名	73 歳 5 月	9:33	12:36	3 時間 03 分	＊涼しくて快適だった
2020.05.02（土・快晴・寒い）	4 名	73 歳 3 月	7:56	11:26	3 時間 30 分	＊御殿庭から水ヶ塚コース
2019.10.05（土・快晴・涼し）	5 名	72 歳 8 月	7:18	11:30	4 時間 12 分	＊上りキノコ採り時間あり
2019.07.06（土・曇り）	4 名	72 歳 5 月	7:08	10:44	3 時間 36 分	＊ 歩荷訓練・荷物あり
2018.10.21（日）						
2018.09.06（木）						
2017.11.26（日・快晴・強風）	1 名	70 歳 9 月	6:33	9:55	3 時間 23 分	＊単独
2017.08.26（土）	3 名					
2017.08.20（日・曇り）	3 名	70 歳 6 月	7:18	10:20	3 時間 2 分	＊
2016.11.20（日・晴・高温）	1 名	69 歳９月	9:31	12:21	2 時間 50 分	＊単独・初見

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）
会報「れいほう」
第２６期・８巻　　２０２０・１１月号　　NO.２３１
連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12　徳山荘
090-8956-9990　　055-986-6075
HP　　http://susono-reihou.babyblue.jp/
mail　　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp
　　takanori.reihou8888@gmail.com

９/１９　タマゴダケ　大室山・南尾根